

# 防災情報システム

## 要旨

災害対策は、直接的な災害防御を目的とするハード的な対策と、情報面の充実によって被害の軽減を目的とするソフト的な対策に大別される。阪神・淡路大震災以後、震災対策が抜本的に見直されたことを背景に、災害対策活動における情報インフラの社会的重要性が高まっている。

“防災情報システム”は、災害にかかわる情報を一元的に管理するとともに、災害対策活動における情報の収集・処理・検索・提供などの業務を総合的に支援する情報インフラに位置付けられる。

本稿では、地方自治体を対象とした防災情報システムに関し、三菱電機のシステムメニューを概説するとともに、下記に示す当社システムのキーシステム、キーパーツを紹介する。

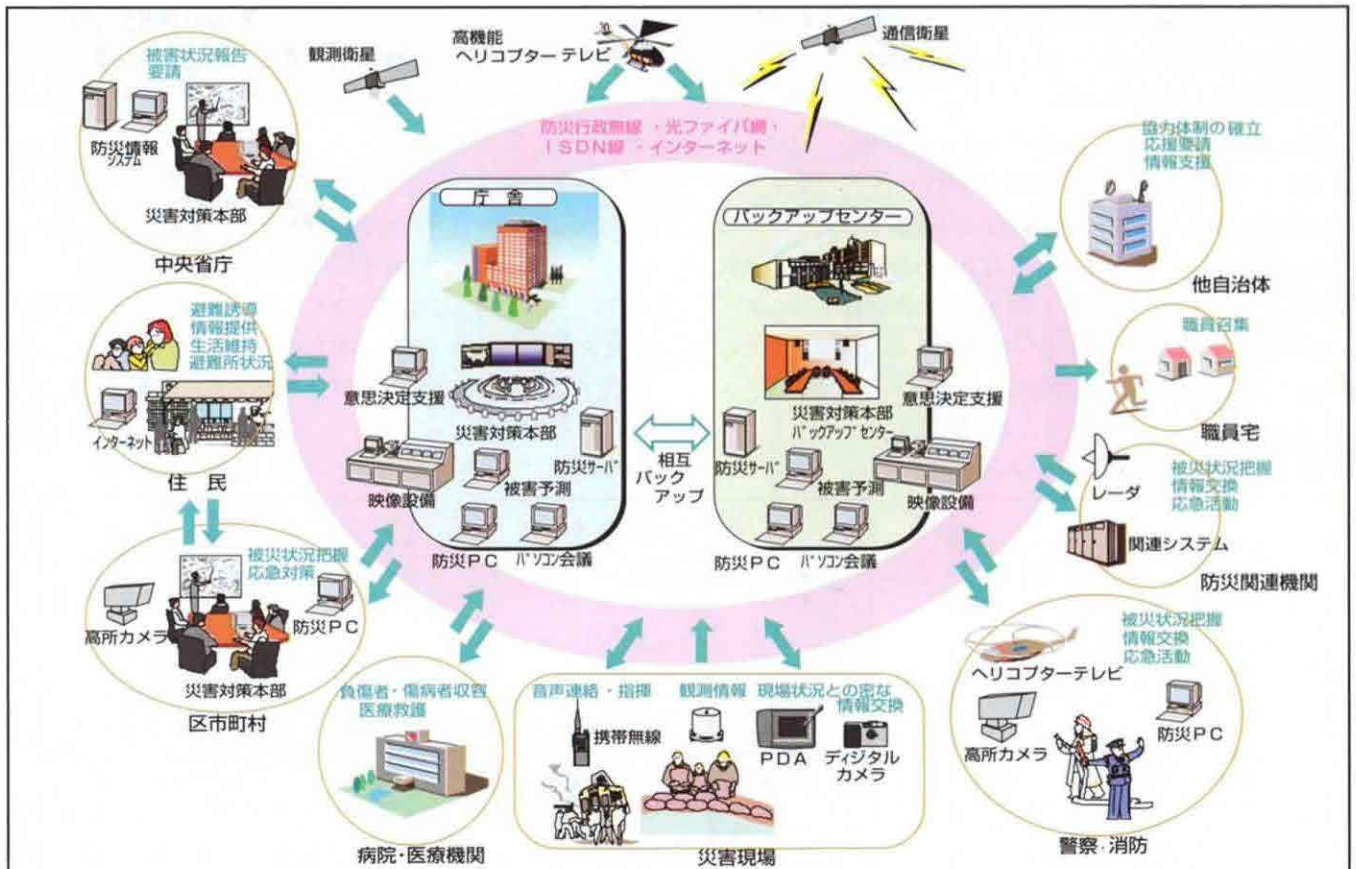
紹介する。

- 防災地図情報処理
- 地震被害推定
- PDA

(Personal Digital Assistant：携帯情報端末)

- 暗号装置
- 高精細シームレスマルチプロジェクタ
- 高性能AV操作卓
- 高性能ヘリコプターテレビシステム

また、今後のシステム強化の方向性について、システム相互接続、意思決定支援、予測機能、パースアイセンシングの高度化等のトピックを取り上げて概説する。



## 防災情報システムの全体イメージ

防災情報システムは、防災行政無線網等を通信インフラとして情報処理技術、映像技術等で構成される複合システムであり、地方自治体を中心に中央省庁、防災関係機関、住民等をネットワーク化することにより、災害対策活動を総合的に支援するものである。